

令和3年度第2回北秋田市総合教育会議 会議録

1. 開催期日 令和3年10月28日(木)
2. 開催場所 北秋田市民ふれあいプラザコムコム 大研修室
3. 開会及び閉会 開会：午後1時30分 閉会：午後2時50分
4. 出席者 北秋田市長 津谷 永光
<北秋田市教育委員会>
教育長 佐藤 昭洋
委員 佐藤 正俊
委員 佐藤 英樹
委員 蒔苗 隆
委員 藤本 基子
5. 欠席委員 なし
6. 出席職員 <教育委員会事務局>
教育次長 小坂 竜也 総務課総務係長(書記) 工藤 留理子
総務課長 金田 浩樹 北部学校給食センター所長 福田いずみ
学校教育課長 山田 理 義務教育係長 佐藤 貴子
生涯学習課長 小塚 重光 生涯学習係長 成田美穂子
スポーツ振興課長 藤野 義則 文化係長 三澤 照美
スポーツ係長 松橋 康浩
7. 案件 (1) 令和3年度主な教育施策の実施状況について
(2) 意見交換

8. 会議録

小坂教育次長	<p>ただいまから、令和3年度第2回北秋田市総合教育会議を開会いたします。 はじめに、津谷市長からご挨拶をお願いします。</p>
津谷市長	<p>令和3年度の第2回北秋田市総合教育会議の開催にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。</p> <p>教育委員の皆様には日頃より本市の教育行政の推進につきまして、大変力強く温かいご協力、ご支援をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。</p> <p>さて、本市におきまして、5月12日から開始いたしました新型コロナウイルスワクチンの特設会場での集団接種であります。本日ご出席であります蒔苗委員をはじめ、医療関係の皆様方、そしてまた市民のボランティアの方々、たくさんの皆様方の応援をいただきまして、10月3日で無事終了することができました。この間の皆様のご尽力、ご協力に対しまして心から敬意と感謝を申し上げたいと思います。</p> <p>12歳以上の接種率であります。10月19日現在で1回目が90.2%、2回目が88.2%と9割近い方々が接種をされております。県の感染警戒レベルが、昨日3から2に下がりました。ワクチン接種の進展や行動の制限などによりまして、国内の感染状況が報道などによりまして改善されつつあるわけですが、今後、第6波の恐れがあるという指摘もありますので、引き続き、基本的な感染予防対策の徹底について、市民の皆様方のご理解とご協力をいただきながら、ともに気をつけて参りたいと思っていますので、皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>さて、伊勢堂岱遺跡であります。平成8年の現地保存決定以来、地域住民の皆様方をはじめ、多くの関係の皆様からのお力添えによりまして、7月27日に世界文化遺産の登録を果たすことができました。本当に皆様方のご協力に感謝を申し上げたいと思いますし、引き続き、遺跡の価値の保存や魅力のある活用を行って、日本国内のみならず、世界に向けて発信をして参りたいと考えておりますので、この件に関しまして、教育委員の皆様方の力強い温かいご支援とご協力を心からお願い申し上げる次第であります。</p> <p>本日の会議であります。第1回会議で決定いたしました教育大綱の基本的な方針を具現化していく上で大事な会議と考えておりますので、委員の皆様から忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げまして、簡単ではありますが、開会にあたりましての私からのごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。</p>
小坂教育次長	<p>ありがとうございました。 続きまして、佐藤教育長から挨拶をお願いします。</p>
佐藤教育長	<p>今年も、昨年度に引き続いて新型コロナウイルス感染症への対策のために、教育委員会や学校では行事の中止や延期、規模を縮小しての実施が求められました。市民の</p>

佐藤教育長	<p>皆様には大変ご不便をおかけしております。しかしながら、今年度は学校が臨時休業となるような、そういった状態には至っておりませんで、子どもたちを含め市民の皆様による予防対策の成果というふうに私なりに感じております。</p> <p>さて、今年度の主要教育施策の実施状況については、この後、各課長から報告させますので、私からは新型コロナウイルス感染症への対策から感じていることを若干述べたいと思います。</p> <p>感染症への対策として、中止となった施策は人を集める事業や県外との交流事業等です。主なものに市の文化祭や浜辺の歌音楽祭、チャレンジデー等がありますが、文化祭については展示部門を「みんなの作品展」として、昨年度と同じようなかたちで実施しております。この会場にも展示しております。また、民俗芸能大会は無観客で実施し、演じた映像を市の公式サイトで発信したところ、たくさんの方々が見てくれており、演じていただいた5団体の関係者の皆様からも大変喜んでいただいております。延期になった事業は、成人式や100キロチャレンジマラソン等ですが、今後の実施に向け万全を期して進めて参りたいと考えております。小・中学校では、各学校がそれぞれの学校や地域の事情等も考慮しながら、これまで実施してきた行事について、参観者の人数を制限したり、午前午後での分散開催にする等、密を避ける工夫を凝らして極力実施しております。修学旅行についても行き先を県内とし日程を変更する等、それぞれの学校が行事本来のねらいに立ち返って実施できておりました、子どもたちを最優先させた各校の創意工夫には、大変感謝しております。</p> <p>結びとなりますが本日の会議の中で、新型コロナウイルス感染症への対策も含めた今後の方向性についてご意見をいただき、それを踏まえ、来年度の計画に反映できるよう検討して参りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
小坂教育次長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは案件に入らせていただきます。北秋田市総合教育会議運営要綱の規定によりまして、議長は市長が行うことになっておりますので、市長に案件の進行をお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。</p>
津谷市長	<p>それでは要綱に基づきまして、議長を務めさせていただきますので、よろしくお願い致します。</p> <p>初めに、案件の(1)北秋田市教育大綱に基づく令和3年度主要教育施策の実施状況について、各担当課長から、基本方針と目標ごとに説明をお願いいたします。</p> <p>はじめに、学校教育関係について、学校教育課長、総務課長からお願いします。</p>
山田学校教育課長 金田総務課長	<p><学校教育関係 説明></p>
津谷市長	<p>ただ今の説明について、皆さんから何かご意見、ご質問等あれば伺いたいと思いますのでよろしくお願い致します。</p>

<p>藤本委員</p>	<p>ICTの活用についてですが、学校訪問でもどの学校も上手に活用されていることがよくわかります。ただ調べるだけではなく、ペアやグループの話し合い活動にも十分活用されていました。例えば、これまでのようにグループやペアの手元でホワイトボードに書いていたものを、先生が回って見て、そして黒板に貼ってというようなことではなく、みんなで見られる大きなディスプレイに拡大して表示したり、先生の手元で子どもたちの意見をピックアップしたり、先生方がうまく活用されているということを実感しています。</p> <p>特に、特別支援学級における交流事業ということで、先日、鷹巣東小にお邪魔した時に、特別支援学級の子どもたちが米内沢小とオンラインで繋がっていました。それぞれがゲームを企画して、それを見せ合うようなかたちで、子どもたちのワクワク感がすごく伝わってきました。また、22日に鷹巣東小の子どもたちが米内沢に行ったということで、米内沢小の先生に様子を聞いてみました。一緒に浜辺の歌音楽館に行ったり温泉に入ったり、いい交流ができたとのことで、ICTがうまく活用された成果で、交流の喜びがより大きくなったということがわかりました。</p>
<p>津谷市長</p>	<p>ありがとうございます。お話を伺いながら、とてもいいなと思いました。このことに関して課長から何かありますか。</p>
<p>山田学校教育課長</p>	<p>ありがとうございます。子どもたちの学びがこれからもどんどん広がっていくように、研究を進めて参ります。</p>
<p>佐藤英樹委員</p>	<p>先ほどICTの説明の補足資料でありましたけれども、それぞれ自宅に帰った時のWi-Fi環境の整備というのが、今後の課題ではないかと思えます。これをいかに解決していくか、市長の冒頭のごあいさつにもありましたけれども、コロナの第6波に備える必要があります。例えば、学校が休校になった時に大都市圏ではタブレットを家に持ち帰って、タブレットで遠隔授業をしているわけですね。今後、市として考えていく要素として、予算化することを進めていただければありがたいと思います。</p>
<p>山田学校教育課長</p>	<p>佐藤英樹委員がおっしゃられたこと、肝に銘じながらしっかりと取り組んでいきたいと思っております。現在の計画では、2学期中に実証実験、現在の段階でのWi-Fi環境を、学校と各家庭が繋がることのできるかというのを、学校や地域の状況に合わせながら進めているところです。</p>
<p>佐藤正俊委員</p>	<p>スクールバス運行事業について先ほど報告がありました、評価C。5件の事故ですが、大きい小さいにかかわらず、子どもたちの命を守る、安全に運行するために私からの提案です。</p> <p>年に何回かでも乗車マナー、或いはそういう指導が行われているのか。いないとしたら、できれば学校や教育委員会が見守ったり、或いは一緒に乗車して調査を試み</p>

佐藤正俊委員	<p>たり、そういったことが必要ではないだろうかと感じています。私は阿仁根子に住んでいますが、4月、新1年生のために、阿仁合小の先生がわざわざ朝早く来て指導していたのは見えています。さて、その後はというと見ていません。民生委員の方々は月に1度は必ず出て、子どもたちの乗車する様子を見たりしているわけですが、継続して子どもの様子を見るのが大事ではないかと思います。誰かが見ている、或いは乗車していることによって、運転手の緊張感が違ったり、逆に運転手からの希望も出てきたりするのではないかと感じていました。</p>
山田学校教育課長	<p>乗車マナーの指導や一緒に乗車することについて、ご意見を参考にしながら今後できないものか、生徒指導主事部会と協議しながら検討していきたいと思います。</p>
藤本委員	<p>米内沢小で息子がスクールバスのお世話になっていますが、毎年その年度の始め、新学年になった時に、地区の担当の先生が朝乗ってきます。ただ、それは毎年度1回だけです。これまでは、子ども達がすぐ座らないこともあったようですが、今年度は誰がどの場所に座るかというのを小学校で作ってくださったものが配られましたし、子ども自治会の中でもお話があったようです。</p> <p>また、うちでは祖母がスクールガードということで、小学校から素敵なベストが配られていますが、頼まれれば意外と喜んでバスに乗って行くかもしれませんので、必ずしも先生でなくても、地域の方、朝立ってくださる方とか、声をかけたらきっと喜んで子どもたちと一緒にバスに乗っていくのではないかと思ったりしています。</p>
山田学校教育課長	<p>スクールガードの方々が乗車していただくというアイデアも可能かどうか、それを含めて、今、皆さんからいただいた意見を参考にさせていただきたいと思います。</p>
佐藤教育長	<p>4月の当初などは学校の教職員が乗車したりできるのですが、定期的なというわけにはいかないと思います。学校の教職員以外で、各校で立ち上がっている学校運営協議会、或いは地域ボランティア、こういった方々のご協力を仰ぎながら、各学校の基準が全て違いますので、その学校に合ったやり方について、課長と各校長と相談していきたいと思います。</p>
津谷市長	<p>対応のご指摘とか、いろいろ参考になるご意見をいただきました。ありがとうございました。</p> <p>他にございませんか。</p> <p>なければ、次に生涯学習の方に移らせていただきます。生涯学習課長お願いします。</p>
小塚生涯学習課長	<p><生涯学習関係 説明></p>
津谷市長	<p>それではただいまの説明につきまして、ご意見ご質問をいただきたいと思いますので</p>

津谷市長	<p>よろしくお願いします。</p>
藤本委員	<p>民族芸能大会のYouTube を拝見しました。画像も音響もよく、笛の音がとても美しく感動しました。特に、各団体の代表の方々のコメントがとてもよかったです。説明だけではなくて、その伝統を続けていく、やっていることに対する熱い思いが本当に伝わってきて、ステージ演示は見るができなかったのですが、皆さんの思いが伝わってきて大変よかったですと思いました。</p> <p>もう一つですが、文化財を集約する作業ということですが、その文化財は台帳と定期的に照らし合わせているのでしょうか。</p>
小塚生涯学習課長	<p>2点のお話がありましたので、順番に説明していきたいと思います。</p> <p>民俗芸能大会を無観客にしたことによるメリット部分が、上手く映像の方に出ていると思いました。観客がいるとどうしてもカメラの配置が決まってしまう、お客さんの前に出ることができないのですが、そういったことを気にせずにいるんな角度から撮影できましたし、先ほど藤本委員がおっしゃったとおり、代表の方の伝統芸能に対する思いというのは、コメントに込められていたと思います。その場で見ていただくということも伝統芸能を守る一つでしょうけれども、今後、広く皆さんに見ていただき、今年のように映像にして次世代に記録として残すといったことも、これも一つの大きなウエイトを占めることになったのではないかなというふうに感じております。</p> <p>2点目の文化財の集約、旧鷹巣南小に運んではいるのですが、それ以外の北秋田市指定の文化財、各民間の方がお持ちになっている部分は、毎年適正にあるのか確認していますが、市で今保管している各地にあるもの、遺跡や民具も含め、まだきちんと整理できていないという状況なので、今後きちっと集約した形で、また、どこかの段階では一部皆様に見ていただくような仕掛けをしていかなければならないと感じております。</p>
佐藤正俊委員	<p>先日の新聞記事に、県縄文遺跡群、保存と活用という記事が載っていました。高速道路、空港、内陸線と、とてもいい条件の中に縄文館がありますが、人の流れはどうなっていくのだろうかといういろいろ自分で想像をしてみました。例えば、縄文館でお土産を買ったからそこから家にまっすぐ帰る、というのではなく、道の駅大太鼓や大館能代空港に行けば更に買い物も食事もできる、市内に行くとなんがある、といった人の流れを作る案内というか、そういうものがあつたらどういふものかと考えておりました。</p> <p>もう1点は、湯車川での子どもたちによる鮭の放流活動がありますね。放流の時は子どもたちが笑顔で楽しく放流している姿が新聞に載っているのですが、その後の遡上しているニュースがなかなか聞こえてこない。どの程度遡上しているのか、或いは縄文館や遺跡だけではなくて、それに関わる湯車川の環境をどう守っていくかということも大事な活動の一つではないかと思ひます。前に行った時は、ビニールの袋が流れていたり、草がぼうぼうになっていたりと、特にあそこはそんなに水量の多い川ではないですよ。大事に水を使用しなければ鮭も遡上が少なくなってくるのではないかと心配です。ボランティアの活動の一環としてやっているかとは思ひますが、お聞かせください。</p>

佐藤正俊委員	い。
小塚生涯学習課長	<p>1点目の縄文館からの人の流れの方から説明させていただきます。実は今年の7月に北秋田地域振興局建設部の方からお声掛けがありまして、縄文館を案内する道路の看板が足りないのではないかという声が振興局の方に出されたそうです。それを受けて、市役所の我々ですとか、観光部門、建設部門が一堂に会しまして、その話をしたこともあります。そういった流れを組みまして、先ほどお話が出ました秋田県が主催した縄文遺跡群の保存活用協議会で話されたのは、北秋田地域振興局が管理するいわゆる県道については、道路の大きな看板に「伊勢堂岱遺跡」という表示を今年度中に入れてくださると、6枚ぐらいだったのですが、そういうお話をいただきました。また、今度はそれを補助する意味で、北秋田市がちょっと小さめの看板ですが、道路の横に設置すると。こちらは、大体20カ所ぐらいだと思いますが、その予算は9月の補正予算で確保していますので、今年度中に設置できるものと考えています。</p> <p>先ほどお土産の話もあったのですが、縄文館は小さなミュージアムショップですのであまり品数は置けませんし、また縄文遺跡と関係のないものまで売るわけにはいきません。実際に縄文館では、北秋田市の名産等買える所はないですか、という問い合わせもあります。そういった場合は、道の駅大太鼓を案内しますが、なかなか口頭では説明しづらいです。こういう話もまた7月の時に振興局の方に伝えましたら、先ほどの「伊勢堂岱遺跡」を看板に表示する逆バージョンですね、「国道7号」の表示も入れますと。縄文館から行く人は、川口交差点から左に曲がって、あとは7号線という標識をたどって、7号線に出たら右に曲がれば大太鼓の館がありますよ、とそういった看板での案内ができますよというアドバイスもいただきました。ですので、我々は口頭による案内だけではなくて、更にそれを補足できるようなマップをカウンターに用意するとか、そういったことを検討していければと考えております。</p> <p>2点目のカムバック縄文サーモン、放流の時は確かにマスコミもいっぱい来ていただいています。ただ、間違いなく遡上もしていますし、広報の方でも遡上を確認して写真では収めているという情報ももらっていますが、いつどこで見られるのかわからないものですから、マスコミの目にはなかなか触れにくいのは確かだと思っています。本日、マスコミの方もいらっしゃいますので、遡上しているといったことも見ていただければいいと思いますし、例えば我々は動画や写真を何月何日の配信です、といったようなことで提供できれば、また皆さんに取り上げていただけるのではないかと考えますので、そういった研究をしてみたいと思います。</p>
佐藤正俊委員	<p>世界文化遺産登録は、一市民として大変うれしいニュースでしたし、誇りに思っています。ですから余計に気になるし、見てしまいます。私たちも大事に見守ってきたいので、どうかこれからもよろしく願います。</p>
佐藤教育長	<p>鮭が上る湯車川ですが、佐藤正俊委員がおっしゃるように、環境としてはあまりよろしくない状況になってきていることは間違いないです。土砂が溜まってきていて、その</p>

佐藤教育長	<p>辺のところは鷹巣漁協等と相談しながら、所管部局と合わせて見ていかなければいけないのではないかなと思います。放流した数ぐらい遡上はしていませんが、私も毎年見てはいます。最後の何匹か死骸として、産卵の終わった鮭が横たわっているのを確認してきますが、「今上っている」というように、いつ誰が行っても見られるというような状況ではないので、放流した鮭の回帰率は1%と言われてはいますが、放流した鮭が幾らかでも多く上って来られるような環境を、あまり手を入ると世界文化遺産の方からいろいろ指摘があると思いますので、あまり手をかけずにいい環境を保持するという方向について、検討していくようにしたいと思います。</p>
津谷市長	<p>幸い縄文館の館長さんが地元の方でありますし、いつも地元の人たちが草刈等いろいろボランティアでやってくださっていますので、多分、湯車川の遡上の状況も見ています。ですのでそういったことも、電話で結構ですので教えてください、とお願いすると情報も集まるのではないかと思います。先ほど佐藤正俊委員からもいいお話ありました。せっかくのカムバック縄文サーモンがカムバックして来て、誰も冷ややかであれば鮭もかわいそうですね、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
蒔苗委員	<p>それに関連して、文化財保護事業ですね。前にも教育委員会の場でお話したことありますが、学芸員が2人しかいないということで、宝の山があっても宝を選別する人がいないとせっかくの物が台無しになってしまいます。それから伊勢堂岱遺跡についても、新たな発掘をされていると思いますが、そういう情報は全然入ってきていません。今年はこちらの発見があったよとか、年に1回でもそういった発表なり、市民に情報提供してもらえれば、もっと関心が深まるのではないかと思います。</p> <p>環境については、湯車川という名前すら私は知らなかったです、つい最近まで。そういった環境と遺跡の位置関係とか、どういう繋がりがあるのかということも縄文館でもいいですし、その他の場でもいいですが、もう少し知らせてもらいたいです。そういうことによっても、遺跡の利活用というか、発展していく余地が出てくるのではないかと思います。</p>
津谷市長	<p>湯車川のカムバック縄文サーモンに関しては、縄文館の方でも表示はさせていただいておりますが、それだけを大きく取り上げているわけではないので、蒔苗委員がおっしゃったように、見せ方というか情報発信の工夫が必要かもしれません。</p> <p>学芸員に関しては、今、市の方でも募集をさせていただいております。以前にも蒔苗委員からお話ありましたので、せっかく世界文化遺産登録になったということで、学芸員を置きたいと募集をさせていただいているところがございますので、これもまたもっと大々的に宣伝をしていかなければならないと思っています。この件に関して、生涯学習課長からも何かありますか。</p>
小塚生涯学習課長	<p>例えば森吉山ダム建設の時に出土したのも、阿仁前田の方に保存してありまして、それを今、さらに旧鷹巣南小へ運搬している最中で、何とか雪が降る前に終わらせたい</p>

小塚生涯学習課長	<p>とっております。伊勢堂岱遺跡だけではなくて、同じ縄文の頃の遺跡というのは市内各地にございますので、そういったものもまた発信していければ、伊勢堂岱遺跡とほかの遺跡、更に世界遺産ということで、相乗効果で皆様にもPRできればいいなと思います。おっしゃるように、学芸員をもう1人とせずもう2人でもほしいくらいなのですが、募集してもなかなか応募がないといった状況です。いずれ決して諦めたわけではないので、引き続き、学芸員を確保するよう努めて参りたいと思います。</p> <p>また湯車川の環境についても、ご存知のとおり空港のアクセス道路の建設工事のために発見された伊勢堂岱遺跡ですので、空港建設とともに上流にありました湯車集落の方も集団移転していますので、そういったことにより空港建設前から比べると、湯車川の環境は非常に良くなっていると。そこに鮭を放流しているのでも遡上しているだろうと勝手に思っているのですが、地域の方々も、縄文館、湯車川、そして伊勢堂岱遺跡と非常に愛着を持って見届けていただいておりますので、地元の方の応援もいただきながら、関係部局とも連携しながら湯車川の環境保全に努めて参りたいと思います。</p>
津谷市長	<p>他にございませんか。</p> <p>なければ続きまして、スポーツ振興関係について、スポーツ振興課長、お願いします。</p>
藤野スポーツ振興課長	<p><スポーツ振興関係 説明></p>
津谷市長	<p>それではただいまの説明につきまして、ご意見ご質問をいただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p>
藤本委員	<p>森吉と鷹巣の体育館をワクチン接種会場に提供していただいたことは、本当に市民の安全に繋がりました。市職員の方々の誘導もとても上手く、おかげさまでスムーズにワクチン接種を行うことができました。今後、体育館も使えるようになって、早くコロナ禍前に近づいて、またスポーツ活動が盛んになることを願っています。</p> <p>もう1点、スキー活動についてですが、26日に息子の小学校の方から、この冬のスキーの大会に参加する予定の児童がどのくらいいるか、スポーツ振興課の方から調査依頼がきているということでメールで案内がありました。事前に調査をするほど、大会に参加する児童生徒が少なくなっているということを実感しました。</p> <p>また、学校の授業で、冬季間の体力づくりとしてクロカンのスキーを1年から6年までやらせていただいているということで、私のようにアルペンしかスキーの経験がなくて全然知らない親も、スポーツ店に出向いて、子どもと一緒にスキーを合わせたりしながら買って来て、また成長に合わせて調達したりということが、このほどタナカスポーツが閉店することで地元できなくなってしまうということは、森吉地区でも特色だと思っていたスキー授業が今までのようになくなっていくのではないかと思います。教頭先生とも、全校で行うということは難しくなっていくのかもしれない、スキー場に2日くらい連れて行って、イベント的な感じに変わっていくのかもしれないです。</p>

藤本委員	ね、といった話をしていたところです。
藤野スポーツ振興課長	一番要望したいのは、どういったところですか。
藤本委員	米内沢小でも、タナカスポーツが閉店することを知る前に、学校の中でスキーの譲渡会をやって、学校でスキーを管理していったらどうかという話が出ていたのですが。
藤野スポーツ振興課長	米内沢小に関しては、去年からスキー授業は薬師山スキー場に完全移行しています。今、阿仁部も統廃合の関係もありまして、これから運営協議会を開くのですが、まだはっきりしていないです。おそらく今年は阿仁部は二つのスキー場があるので、そちらの方を使うことになると思いますが、いずれその二つを運営していくのは困難になりますし、米内沢スキー場に関しても（株）秋田土建が撤退ということで、スキー場自体はあるのですが、その運営に関しては、スキー授業で使うのであれば圧雪車を移管しているのでやりますけども、という話で止まっています。リフトを増設するという話は今はありませんので、学校の方にも伺ったところ、このまま薬師山スキー場でスキー授業をやることになるという回答をいただいています。
藤本委員	実際、今までは9割以上がアルペンではなくクロカンという感じでしたが、違う方向になりそうですか。
藤野スポーツ振興課長	アルペンとクロカンのスキー人口の調査終わったところですけども、また減っています。アルペンというよりも、クロカンのために圧雪車を使うということで、（株）秋田土建の方で考えてあったようですが、また状況が変わってしまったので、それを踏まえて、今後の運営については協議したいと思っています。
佐藤英樹委員	2点お願いします。昨日、全国的にチャレンジデーであったようですが、秋田県内は25市町村の内、5市町村が参加していないようで、そのうちの一つが北秋田市でした。多分、実行委員会の決定事項でそのようになったと思うのですが、市民の運動する場を確保する意味では、昨日、藤里町がテレビ放映されておりましたが、その辺は敏感にアンテナを高くして、隣の市町村も参加しているわけですから、機会を増やす意味でやっていただきたいなと思ったのが1点目です。
	それからこれは教育委員会管轄ではないと思うのですが、米代川の河川敷でミニサッカー場も整備されて、小・中学生、放課後や休日に遊んでいますが、小学生はスポーツ少年団化して、放課後、その活動に参加していない子どもたちはどうしているのかなど。その辺の調査もしながら、子どもたちの遊び場の確保を考えていかなければいけないのではないかと思います。
	先日、井川義務教育学校におじゃました時、朝夕スクールバスで通っているので、子どもたちの運動不足が非常に心配だと。それで体育はもちろんだが、昼休みも極力外に

佐藤英樹委員	出て運動させるように努めているという校長先生のお話が、非常に私は印象的に心に残っておりますので、スポーツ振興課なのか、生涯学習課なのかわかりませんが、連携しながら、子どもたちの運動不足解消を考えていただければありがたいと思いました。
藤野スポーツ振興課長	まず1点目、チャレンジデーについてですが、ご指摘のあったとおりです。何度も紆余曲折がありまして、決定する段階で、新型コロナウイルス感染症が一番拡大した時で、その時点で決定しなければ、経費や参加者の把握のこともあり、非常に担当としても苦慮したのですが、最終的にはぎりぎりまで待って、実行委員会の書面決議で1名を除いて中止という回答をいただいた結果でございます。
津谷市長	対戦相手の方も、引いたご意見であったと思います。
藤野スポーツ振興課長	<p>北海道名寄市が対戦相手で決定はしていたのですが、自主参加の方向に動いたようです。他市町村では、対戦相手のいない、オープン参加的に実施したところもあったようです。苦しい選択ではありましたが、今年のご了承いただき、来年は取り組んでいきたいと思っております。</p> <p>それからサッカー場ですが、スポ少は旧鷹巣高校のグラウンドでサッカーをしていたのですが、そこがなくなるということで、一昨年あたりから何度も相談にみえていました。その時点で河川敷が使えるのかという問い合わせがあつて、所管は都市計画課の方に移管になっていますので、自由に使っていいということでお話をしていたのですが、ゴールポストをそのまま置かれると簡単に川の流れで流されてしまうので、そこだけはよく注意してください、保管とか寄せるとか、そういったところをご相談にのりますので、ということでお話したところ、快諾していただきまして、ポストも橋桁のところへ寄せたりしながらやっています。</p>
佐藤英樹委員	そうすればそこは、私が行った時はサッカーの団体でなくて、さっき言ったように、一般の小・中学生たちが遊びに来ているということだったので、自由に使ってもいいということですね。
藤野スポーツ振興課長	はい。
佐藤英樹委員	伺いもいないということですか。
藤野スポーツ振興課長	はい。
佐藤英樹委員	旧町毎に確認してみながら、そういう場を工夫していただければありがたいと思います。

藤野スポーツ振興課長	<p>河川敷にはソフトボール場、野球場もありますが、そちらの方も自由に使っていただいています。仕事の前、朝から社会人野球の方々が練習したり、暗くなる前に練習したりというの見かけていますので、自由に使っていただいています。本来であれば、申請を出さなければならないのですが、スポーツ振興課の所管からは外れて公園の一部ということなので、自由に使っていただいて結構ということでございます。</p>
藤本委員	<p>先ほどの子どもたちの遊び、運動についてですが、放課後児童クラブでボール等を用意してくださっていて、外でもサッカーしたり、遊ぶ時間を作ってくださっています。迎えに行った時、汗びっしょりになっているくらい体を動かす機会は放課後児童クラブでも設けてくださっています。</p>
津谷市長	<p>他にございませんか。</p> <p>なければ、(1) 案件につきましては、これまでの進捗状況を確認させていただきましたし、委員の皆様から貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。これから実施する事業についても、十分に成果が達成できるように進めさせていただきたいと思っておりますし、担当課の方でも、ただ今の委員の皆様のご意見をしっかり受け止めてがんばっていただきたいと思います。</p> <p>続きまして(2)の意見交換に入らせていただきます。限られた時間ではありますけれども、テーマを設けなくて、北秋田市の教育について皆様からご意見をお伺いしたいと思っておりますので、特にこれは言うておかなければということがありましたらよろしく願いいたします。</p>
佐藤正俊委員	<p>もうすぐ、私の生活している地域に、義務教育学校ができようとしています。いろいろな問題があり、反対という意見が出て白紙の状態になって、3年待って今統合の段階に進んでいるわけですが、教育長さんの計らいで、井川義務教育学校を訪問する機会を得まして、大変ありがたく感じています。とても素晴らしい学校を見させていただきました。合川小や米内沢小などの北秋田市の新しい学校は、私たちの誇れる学校だし、誰が来ても素晴らしいと言える学校です。でも今回訪問した井川町の義務教育学校は、町民の気持ちが込められた学校だと感じました。平屋の木造づくりで、廊下が直線距離で130mほどありました。そこに1年生から9年生まで、子どもたちが同じ棟で生活している。びっくりしました。校長先生が案内してくれるのかと思ったら、教育長さんが直々に案内してくださって、自信たっぷりの説明でした。こういう学校が阿仁にできたらいいなと思ったのですが、なかなかこれは予算の問題で難しいとは思いますが、同じ地域に住んでいる者として、できるだけがんばって予算をつけていただいて、改修工事をしてほしいとお願いしたいと思っております。秋田県内の3番目の義務教育学校になるので、阿仁の義務教育学校に入りたいと思えるような、素敵な学校を造っていただきたいと思っています。</p> <p>できればそれが移住定住の方にも関わって、今までにない学校になることを私</p>

佐藤正俊委員	<p>はとても期待しています。予算をいっぱいつけていただいて、希望した親たちが安心して子どもを育てられる、そういう学校を目指してほしいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
津谷市長	<p>教育長からも、井川義務教育学校の視察のお話を伺っておりました。 大変重いご意見をいただきましたけれども、教育委員の皆様の熱い思いをしっかりと受けとめながら、考えていきたいと思います。</p> <p>他にございませんか。 なければ、意見交換はここまでとさせていただきます。貴重なご意見をいただきました。これからも北秋田市の教育行政のために皆様からの温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。進行の方終わらせていただきたいと思います。ありがとうございました。</p>
小坂教育次長	<p>津谷市長、大変ありがとうございました。 次第の5その他になりますけれども、これまでの案件以外に委員の皆様から何かございますか。 なければ、以上をもちまして、令和3年度第2回北秋田市総合教育会議を閉会いたします。 本日はありがとうございました。</p>

(午後2時50分 閉会)